

※以下の内容を記入し、**走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2016 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2016 第 7 回実験走行 2016/ 11/ 5(土)

ロボット No.: 1630

ロボット名: ロードランナー11型

チーム名: 福岡大学フューチャービジョン

記載責任者: 松岡毅

1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

ロボットを現地で試走させる。これによって、現地におけるオペレーションの手順の確認、およびロボットの動作確認を行なう。

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

2.2 実験成果

車検でロボットの外見についていくつかの指摘を受けた。これに対応することで時間を費やしてしまい、ロボットを試走させることはできなかった。

3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

3.1 自律走行の内容

3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

3.3 残された課題

3.4 失敗した理由

3.5 確認走行を行った場合は、その記録

3.6 記録走行を行った場合は、その記録

4.運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。